

“モッタイナイ”が新たな消費行動をつくる 若者×川崎発企業×モッタイナイ食品 による商品開発・販売 KAWASAKI モッタイナイ PROJECT キックオフミーティングを開催しました！

川崎市では、若者と川崎発企業等が連携し、モッタイナイ食品を活用した商品開発・販売に取り組む「KAWASAKI モッタイナイ PROJECT－モッタイナイは地球を救う－」（以下「本プロジェクト」）を始動し、9月2日（水）にキックオフミーティングを開催しました。本プロジェクトは、食の選択を通じて脱炭素や資源循環を自分事として捉え、行動に移してもらうことを目的に実施するものです。当日は、参加者同士が顔合わせを行い、本プロジェクトの趣旨や目指す姿、「モッタイナイ商品」の方向性を共有する場として実施し、今後若者の発想力と川崎発企業の知見を掛け合わせながら、川崎発の「モッタイナイ」を新たな価値へと転換し、市民の脱炭素行動変容につなげていきます。

※「モッタイナイ食品」とは、食品ロスになる可能性があるものの、まだ十分に食べられ、活用できる食品の総称



後列左から大塚瑠奈、加藤慎之介、田中悠太、矢田紘大、井上摘生
前列左から小谷真央、小川紗里、日下部杏花、宇都宮のあ、小林恵大、伊藤奏音



プロジェクトロゴ

1 開催概要

- (1) 名 称 KAWASAKI モッタイナイ PROJECT キックオフミーティング
- (2) 実施日時 令和8年9月2日（水）18時00分～21時00分
- (3) 会 場 川崎市役所本庁舎 復元棟1階101会議室（川崎市川崎区宮本町1）
- (4) 当日参加者 <若者> 伊東奏音、井上摘生、宇都宮のあ、大塚瑠奈、小川紗里、加藤慎之介、小谷真央、
小林恵大、日下部杏花、田中悠太、矢田紘大
<市内食品事業者> 菓子匠末広庵、おつけもの慶（有限会社グリーンフーズあつみ）、
農業生産法人株式会社カルナエスト
<商業施設・販売協力店> 武蔵小杉東急スクエア（株式会社東急モルズデベロップメント）
<若者へのSNS発信講座講師> 川崎グルメインフルエンサー たくぼん（佐藤 卓）

- (5) プログラム 18:00～ 本プロジェクト趣旨説明
 18:10～ 参加事業者・若者メンバーの紹介
 18:30～ 写真撮影・個別取材対応
 19:00～ 映画上映「もったいないキッチン」

2 キックオフミーティングの様子

参加した若者たちからは、取組の思いとして、「農業がどういった産業か、色々な人達に知ってもらいたい（井上摘生さん）」「学生がこのような活動に参加する機会が少ないため、学生も知ってもらえるように伝えたい（臼下部杏花さん）」といったコメントがありました。さらに、商品制作への思いとして、「モッタイナイや食品ロスに対する意識を上げられる商品を作っていきたい。お茶も好きなので、お茶と一緒に食べて一息作れるようなものを作りたい（小川紗里さん）」といったコメントもあり、若者の発想力と川崎発企業の知見を掛け合わせながら、商品を開発・販売することで、市民の脱炭素行動変容につなげていきます。



参加した思い等を語る小川紗里さん



自己紹介・市内食品事業者との交流

3 本プロジェクトの概要

川崎市では、2050年の脱炭素社会の実現と循環型社会の形成に向け、市民や事業者との協働による行動変容の促進や、3R（リデュース・リユース・リサイクル）をはじめとする資源循環の取組を進めるため、「川崎市脱炭素ライフスタイル行動変容促進プロジェクト」に取り組んでいます。

食品ロスは、まだ食べられる食品が廃棄されることで貴重な資源やエネルギーの損失につながるだけでなく、生産・流通・廃棄の各段階で温室効果ガスを排出するなど、脱炭素と資源循環の両面から解決が求められる重要な課題です。一方で、脱炭素や資源循環の重要性を理解していても、日常の行動につなげることは容易ではありません。

一方、本市の特色として、多くの若者が学び、働き、暮らす都市としての活力に加え、食品メーカーや小売事業者、商業施設など多様な事業者の集積があり、これまで市民・事業者・行政が共創しながら新たな価値を創出してきました。

そこで、市民にとって身近な課題である「食品ロス」対策に向けて、本市ならではの強みである若者と市内事業者等の共創を活かし、食の選択を通じて脱炭素や資源循環を自分事として捉え、行動に移してもらうことを目的として、「KAWASAKI モッタイナイ PROJECT－モッタイナイは地球を救う－」を企画しました。

本プロジェクトでは、規格外農産物の活用や期限表示への理解促進、食べ切りサイズの提案などをテーマに、食品ロス削減につながる「モッタイナイ商品」の開発・販売を行う予定です。若者の発想力や発信力と、市内事業者の技術力・商品開発力・販売力を掛け合わせることで、「環境のために我慢する」のではなく、「魅力的だから選びたい」新たな消費行動の創出を目指します。

イベントの準備状況や当日の様子については、Instagramで随時発信します！ぜひフォローのうえご覧ください！

https://www.instagram.com/dam_mizonokuchi/



Instagram

【問合せ先】

川崎市環境局脱炭素戦略推進室 戸井田
 TEL：044-200-2865（内線 29201）